

STOCKVOICE 資産形成フェスタ2025

株主・投資家の皆さまへ

“息を吸うようにデータ/AIが活用される社会”の実現に向けた ブレインパッドの挑戦

2025年 2月 16日

株式会社ブレインパッド（証券コード：3655、東証プライム）

 BrainPad

はじめまして、株式会社ブレインパッドです

BrainPad Inc. is one of the best Data&AI companies in Japan

ブレインパッドは、日本を代表するデータ/AI活用のリーディングカンパニーです



「データ分析専業」として、いち早く、2011年に上場



業界最高峰の質・量を誇る、データサイエンティスト組織



創業来20年間、連続増収
全ての売上高が、データ/AI活用に関連

「データのカ」をとことん信じる仲間が集まった専門集団

ブレインパッドの組織やカルチャーは、公式ブログ (<https://blog.brainpad.co.jp/>) を是非ご覧ください！



2025-01-23

データサイエンティストによる、ブレインパッドをもっとオープンにする活動ー...

ひと まいにち 働き方



2024-04-12

ブレインパッド創業20周年記念イベント 開催レポート

できごと まいにち イベントレポート

ブレインパッドの日常



2024-11-19

2025年度新卒入社 内定式開催レポート

まいにち 新卒採用 ブレインパッドの日常

データ/AI活用で、各業界のトップ企業から指名されてきた実績

- 特定の業界に特化せず、各業界において日本を代表する企業のデータ活用・DXを支援
- 以下は、これまでに当社との取引実績があり企業名等の公表を許可いただいている、または、プレスリリースやメディア掲載等で取引実績のあることが公知となっている顧客を抜粋



(2025年2月12日現在、敬称略、順不同)

小売・流通・卸売	伊藤忠商事(株)、全日空商事(株)、(株)高島屋、ウエルシア薬局(株)、(株)コナカ、(株)自由が丘フラワーズ、(株)セレクトスクエア、(株)そごう・西武、(株)DINOS CORPORATION、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)セブン&アイ・ネットメディア、(株)ローソン、スターバックスコーヒージャパン(株)、アスクル(株)、パルシステム生活協同組合連合会、(株)阪急阪神百貨店
製造	トヨタ自動車(株)、アサヒグループジャパン(株)、キューピー(株)、キリンビール(株)、(株)ニトリホールディングス、日本コカ・コーラ(株)、ユニ・チャーム(株)、(株)オンワードホールディングス、(株)晃祐堂、(株)SABON Japan、資生堂ジャパン(株)、(株)島津製作所、(株)スタイリングライフ・ホールディングス BCLカンパニー、西川(株)、日産自動車(株)、日本たばこ産業(株)、(株)ピーチ・ジョン、(株)ファンケル、三菱電機(株)、(株)明治、(株)オンデーズ、キッコーマン(株)、サンスター(株)、ディーゼルジャパン(株)、フジッコ(株)、(株)富士フイルム ヘルスケア ラボラトリー、(株)マウスコンピューター、UCCホールディングス(株)、ライオン(株)
金融	(株)りそなホールディングス、(株)三菱UFJ銀行、(株)ゆうちょ銀行、(株)静岡銀行、(株)足利銀行、(株)伊予銀行、(株)山口フィナンシャルグループ、(株)横浜銀行、東海東京証券(株)、松井証券(株)、(株)三井住友フィナンシャルグループ、(株)イオン銀行、(株)SBI新生銀行、(株)百十四銀行、三井住友信託銀行(株)、SMBC日興証券(株)、大和証券(株)、(株)オリエントコーポレーション、(株)ジェシービー、(株)マネースクエア
旅行・航空・運輸	日本航空(株)、九州旅客鉄道(株)、ヤマト運輸(株)、(株)日本旅行、(株)読売旅行、ヒルトン・ワールドワイド
IT・情報・通信	グーグル合同会社、LINEヤフー(株)、ソフトバンク(株)、エアロセンス(株)、エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)、オーエムネットワーク(株)、(株)大塚商会、(株)クラウドワークス、メディカル・データ・ビジョン(株)、(株)アイスタイル、(株)NTTドコモ、ダイワボウ情報システム(株)、トレンドマイクロ(株)、(株)ユニメディア
電力・エネルギー・建設	大東建託(株)、近鉄不動産(株)、野村不動産ソリューションズ(株)、ミサワホーム(株)、八千代エンジニアリング(株)、積水ハウス(株)、三井不動産レジデンシャルリース(株)
メディア・広告・エンタメ・その他	ぴあ(株)、農林水産省、国立大学法人大阪大学、アイティメディア(株)、(株)日本ビジネスプレス、(株)インタースペース、(株)CyberZ、大日本印刷(株)、(株)セガ、エン・ジャパン(株)、キャリアス就活(株)ディスコ、(株)マイナビ、(株)リクルートスタッフィング、(株)カカココム、(株)さとふる、(株)ミクシィ、(株)ADKマーケティング・ソリューションズ、(株)バンダイナムコネクサス、(株)ビズリーチ、(株)ベネッセコーポレーション、(株)デルフィス、(株)博報堂プロダクツ、(株)マツキャンエリクソン、(株)エキスパートスタッフ、(株)スタッフブリッジ、(株)日経HR、(株)パソナテック、(株)イタミアート、(株)イノバーター・ジャパン、(株)らしんばん

よくある誤解



よくいる
ITベンダーですよね？

No!

クライアント企業にとっての
単なる外注先ではなく、
企業のIT活用の「内製化」を
支援する会社です



AIをつくっている
会社なんですか？

No!

もちろんAIを使いますが、
AIは、データ活用の
「手段のひとつ」です

他とは異なる使命感 「企業・産業にデータ・AI活用を根付かせたい」

なぜ、そう考えるか？ ～ ご存知ですか？ 日本のデジタル競争力の低迷

IMD 世界デジタル競争力ランキング2024（調査対象国 67か国）より

順位	国名	昨年比
1	シンガポール	↑
2	スイス	↑
3	デンマーク	↑
4	アメリカ	↓
5	スウェーデン	↑
6	韓国	→
7	香港	↑
8	オランダ	↓
9	台湾	→
10	ノルウェー	↑
⋮		
31	日本	↑
⋮		
67	ベネズエラ	↓

日本が特に低位の項目（＝日本の弱点）

『ビッグデータと分析の活用』

64位/67か国中

『デジタル/テクノロジースキル』

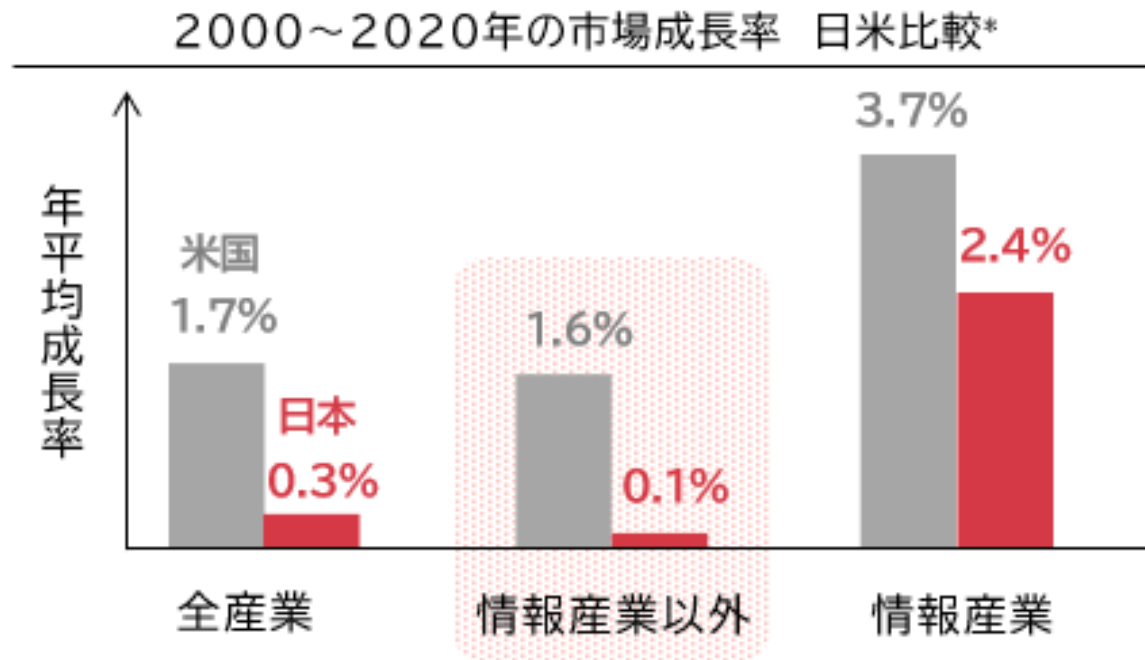
67位/67か国中

出典: IMD, World Digital Competitiveness Ranking 2024.
<https://imd.widen.net/s/xvhldkrrkw/20241111-wcc-digital-report-2024-wip>

他とは異なる使命感 「企業・産業にデータ・AI活用を根付かせたい」

なぜ、そう考えるか？ ～ ご存知ですか？ 日本は情報産業しか儲かっていない

- 日本では、情報産業以外の企業で働くIT人材が圧倒的に不足しており、長らく、IT業務を外注せざるを得ない産業構造が続いている
- その結果、日本は情報産業しか成長していない



* 米国のデータは、アメリカ合衆国商務省経済分析局 (BEA)が公表している産業別実質GDPから集計。「情報産業」の区分はBEA定義の「Information」を利用。

日本のデータは、総務省 令和4年情報通信白書より、「情報産業」の区分は白書のなかで定義されている「情報通信業」を利用。

日本企業がIT活用の「内なる力」をつけること(内製化)を支援

資本業務提携先である、株式会社りそなホールディングス様との取り組み事例



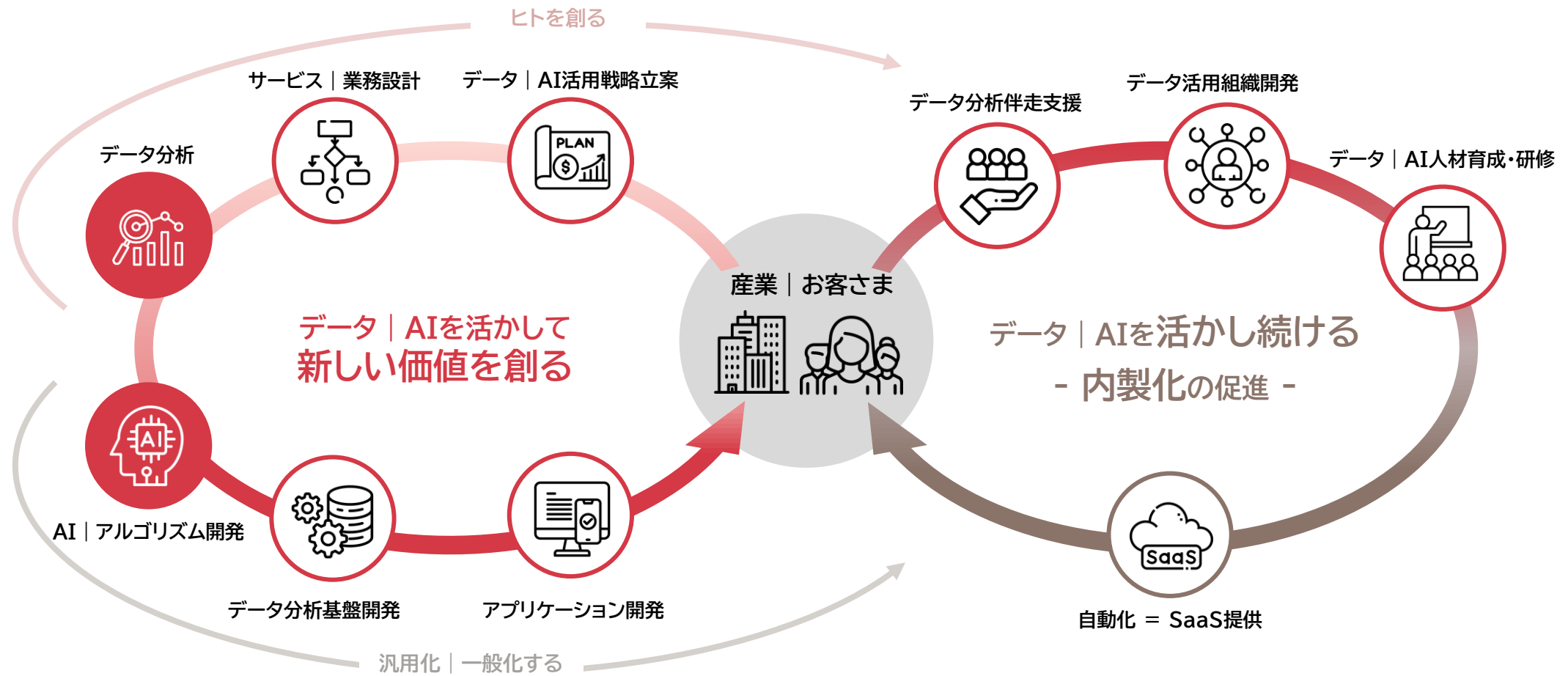
(*1)

- 同社は、2019年4月にデータサイエンス室(その後、2021年にデータサイエンス部に組織改編)を設置。当社は、この専門組織の立ち上げと成長を支援。
- 同組織の所属人員は、4年間で、3名から約50名に拡大(*2)。
- 現在は、内製化推進だけでなく、両社の協働により他の地域金融機関へのDX支援も展開。

(*1)これらの記事は、<https://www.brainpad.co.jp/doors/> に掲載。 (*2)2023/3/8 株式会社りそなホールディングス テーマ別IR説明会資料より。

データ/AIを「活用する専門家」として、日本の国際競争力の向上に貢献

一社で完結する、データ/AIによる価値創造のバリューチェーン



競合企業

コンサルティング企業

システム開発企業 (= SIer)

SaaS企業

人材サービス企業

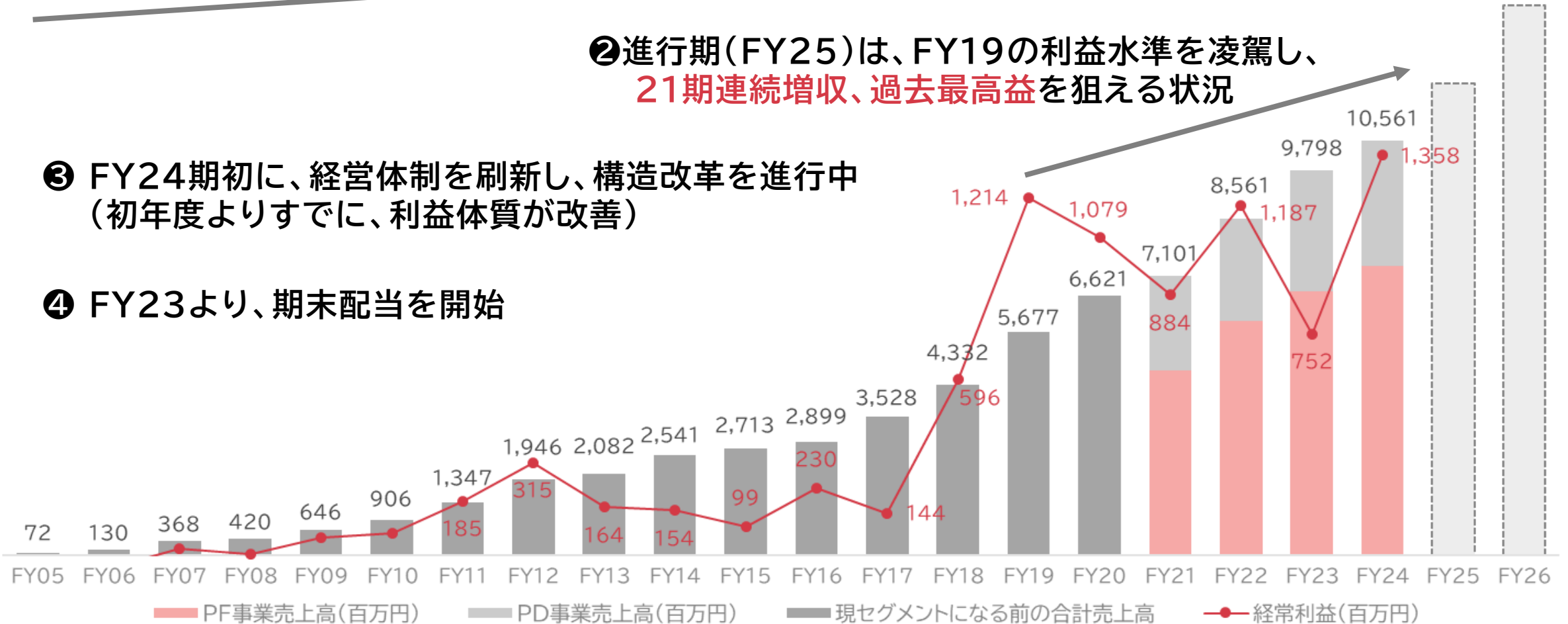
ブレインパッドの現在地

① 創業来、20期連続増収

② 進行期(FY25)は、FY19の利益水準を凌駕し、
21期連続増収、過去最高益を狙える状況

③ FY24期初に、経営体制を刷新し、構造改革を進行中
(初年度よりすでに、利益体質が改善)

④ FY23より、期末配当を開始

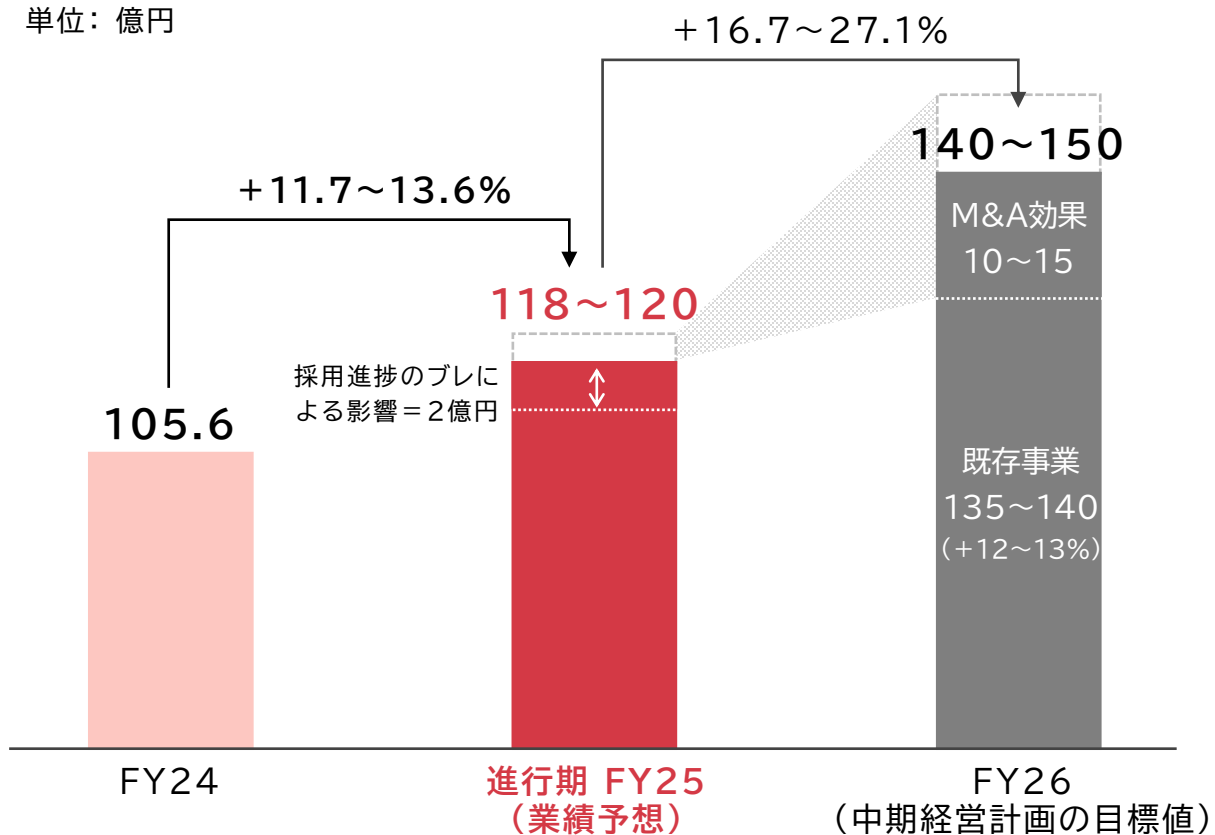


ブレインパッドのこれから ~利益体質への改善を経て、本格的な成長投資へ

① M&Aも積極検討、中期経営計画の達成へ

FY25の売上予想と中期経営計画の売上目標値

単位：億円



② AIエージェント領域への積極投資を開始

2025.1.28 発表

ブレインパッド、AIエージェント事業に特化した子会社の設立を決定、
AIエージェントの開発・提供および活用コンサルティングを提供

株式会社ブレインパッド(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 関口 朋宏、以下:ブレインパッド)は、1月28日、当社の100%子会社として「株式会社BrainPad AI Agent(仮称)」を設立し、AIエージェントに係る新規事業の開始を決議したことを発表します。

当社グループは、2004年の創業来のPurposeに「データ活用の促進を通じて持続可能な未来をつくる」を掲げ、中期Visionを「息を吸うようにデータが活用される社会をつくる」と定めて、さまざまな産業の企業活動や人々の生活においてデータ活用が広く浸透する世界を目指しています。

当社グループは、近年急速に進展している生成AIの特長を、人間から一定の情報を学習して人間の意思決定を支援するアシスタント型(支援型)と、状況や条件を考慮して自律的に複雑なタスクの遂行を可能にするエージェント型(自律型)の二通りに分けて考え、新たな事業機会を探ってきました。そして、日本におけるデータ/AI活用の先駆者として、過去のビッグデータブームやAIブームで経験した課題をふまえ、単なる生成AI技術の普及を超えて、直接的かつ本質的な課題解決につながる「自律型AIエージェントの活用」を新たな事業機会として選択しました。

Purpose

データ活用の促進を通じて持続可能な未来をつくる

Vision

“Data-driven as Usual”
息を吸うようにデータが活用される社会をつくる



(株)ブレインパッド

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目1番1号 六本木ティーキューブ

TEL:03-6721-7701(IR直通) FAX:03-6721-7010

www.brainpad.co.jp ir@brainpad.co.jp

本資料に記載されている戦略や計画、見直しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。従って、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見直しとは乖離する可能性があることを、ご承知おきください。また、グラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。